



## スポーツの秋！食欲の秋！採用試験の秋！



試験会場の様子



東京地本（本部長 楠見陸将補）では、8月28日（月）に実施された自衛官候補生採用試験を皮切りに、秋の採用試験シーズンに突入した。

厳しい募集環境において各種志願票が伸び悩む中、本年度から一般曹候補生採用試験が春と秋の2回にわたり実施されることとなった。

東京地本では、この新たな施策を絶好の機会と捕らえ、春試験においては専門学校生・大学生を中心に、秋試験は全就学区分に対して積極的な呼びかけを実施し、春試験においては1128名、秋試験においては、1101名の1次試験受験者を獲得した。平成28年一般曹候補生1次試験受験者が1415名であったことから、大幅な受験者増加となっている。

10月7日（土）～10日（月）までの間、一般曹候補生2次試験（秋）が都内各駐屯地で実施され、1次試験合格者が口述試験及び身体検査を受験した。今回の2次試験においては、各広報官の地道な信頼関係の構築が実を結び、90%以上の受験率を誇った。

東京地本は今後も、各試験合格者の入隊までのつなぎや、自衛官候補生獲得に向け本部長を核心に東京地本一丸となって、募集目標達成に邁進していくとしている。

## ふるさと北区区民まつりで自衛隊人気が爆発 ～ふるさと北区区民まつりで自衛隊広報ブースを出展～



「キタちゃん」シールを張ってもらいご満悦



偵察用オートバイに乗って決めポーズ

東京地本北地域事務所は、平成29年10月7日及び8日の2日間、東京都北区赤羽会場（赤羽公園）において開催された「ふるさと北区区民まつり」で広報ブースを出展した。

ふるさと北区区民まつりは、区内産業と文化の振興及びふるさと北区の実現を目指して昭和59年から毎年秋に3会場（赤羽、王子、滝野川）で開催されており、今年で34回目の開催となる。この区民まつりは多数のボランティアで運営され、子供からお年寄りまで楽しめる地域に根差した北区最大級のイベントとして親しまれており、例年約20万人規模の来場者数を誇っている。

広報ブースでは、災害派遣活動状況等のパネル展示や制服の試着コーナーを行うとともに、第1普通科連隊第2中隊（練馬）の支援を受けて、偵察用オートバイの展示を行った。

中でも、迷彩服を試着してオートバイにまたがり記念撮影をする体験型コーナーが人気で、順番待ちの列が出来るほどであった。

また、体験型コーナーの待ち時間に幼児達を飽きさせないために、「北ちゃん（北区のマスコット）」シールを貼ってあげるサービスが親子連れに人気で、盛会の一助となっていた。

さらに、災害派遣活動状況等の写真パネルや説明文を興味深く見る人や、自衛隊説明ブースにおいて幅広い年齢層の方から活動内容や自衛官採用に関する質問が多く寄せられる等、充実した2日間となった。

東京地本北地域事務所は、今後も地域と自衛隊の架け橋として、こうした地域イベントに積極的に参加し、地域の方々の信頼を獲得していくとしている。



初日は午後から天気にも恵まれ、幅広い年齢層の来場者で盛り上がった。